

令和 6 年度 ニシン漁獲物調査速報 (5)：厚田地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 3 月 5 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

今年は時化が多く、3 月 5 日は厚田地区で数日ぶりの水揚げとなったようです。当日の厚田地区では、銘柄「メス」、そして「オス特大」、「オス大」から「オス大中」までが出荷されていました。

2. 銘柄「メス」の結果

銘柄「メス」の標本 44 尾中、卵巣はやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 10 尾（23%）で、卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出する個体（熟度 40）は 34 尾（77%）でした。不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）の個体はみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、100.9 g（42.5～132.8 g）でした。尾叉長 31～32 cm 台の個体が多く（図 1）、体重は 390 g を中心に 300～479 g が多くなっていました（図 2）。

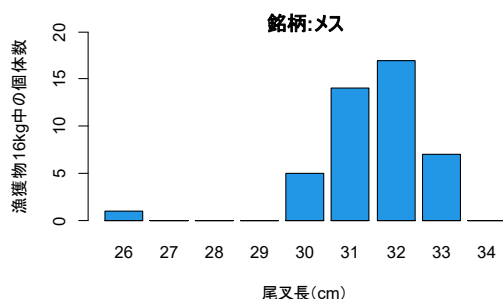


図 1 銘柄「メス」の尾叉長組成 (cm)

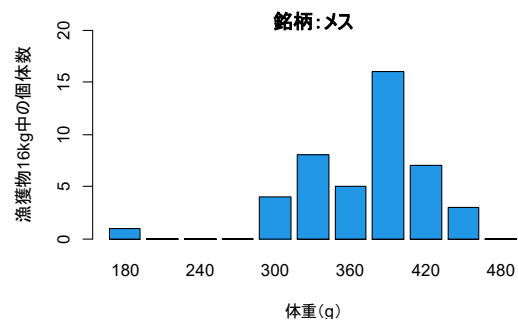


図 2 銘柄「メス」の体重 (g)

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 42 尾は、精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）の個体が 37 尾、精巣は白濁しており放精中と思われる収縮し始めているもの（熟度 30）が 2 個体、放精後の個体が 3 個体でした。尾叉長は 31～32 cm 台のものが多く（図 3）、体重 360 g を中心に 300～449 g のものが多くみられました（図 4）。

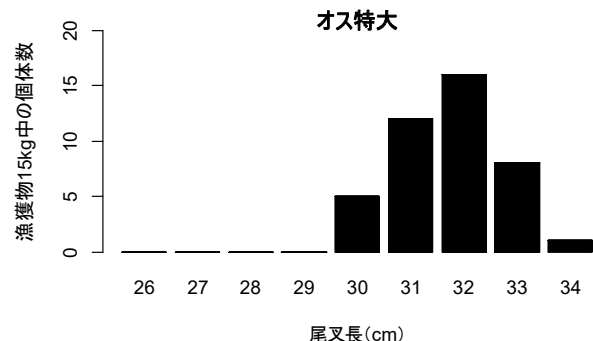


図 3 銘柄「オス特大」の尾叉長組成 (cm)

(次ページにつづく)

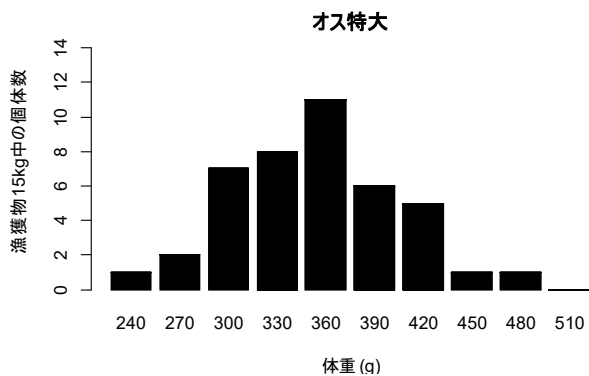


図4 銘柄「オス特大」の体重組成 (g)

3. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本 58 尾は、精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）の個体が 52 尾、精巣は白濁しており放精中と思われ収縮し始めているもの（熟度 30）が 5 個体、放精後の個体が 1 個体でした。尾叉長は 28～31 cm 台のものが多く（図 5）、体重 240～299 g 台のものが多く、みられました（図 6）。

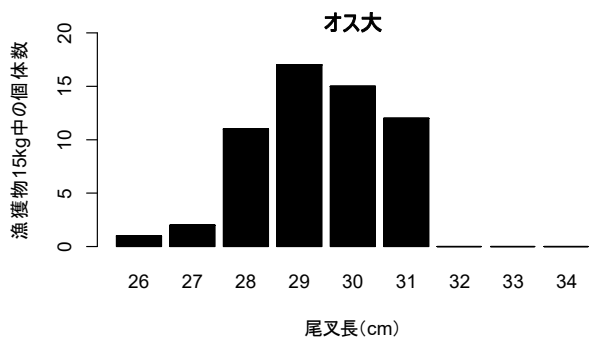


図5 銘柄「オス大」の尾叉長組成 (cm)

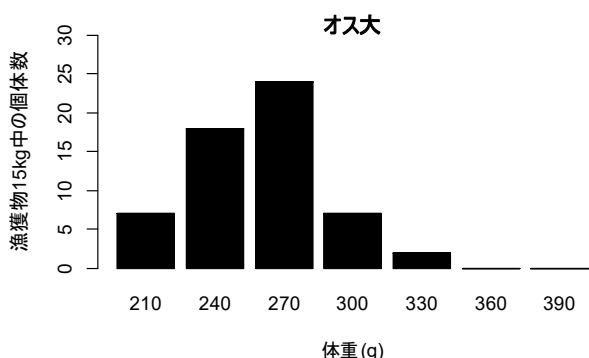


図6 銘柄「オス大」の体重組成 (g)

3. 銘柄「オス大中」の結果

銘柄「オス大中」の標本 72 尾には、卵巣の小さいメスが 12 尾混じっていました。オスの精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）の個体が 42 尾、精巣は白濁しており放精中と思われ収縮し始めているもの（熟度 30）が 12 個体、放精後の個体が 6 個体でした。混入していたメスの 1 尾の卵巣は産卵後の状態でした。尾叉長は 26～28 cm 台のものが多く（図 7）、体重 150～209 g 台のものが多く、みられました（図 6）。

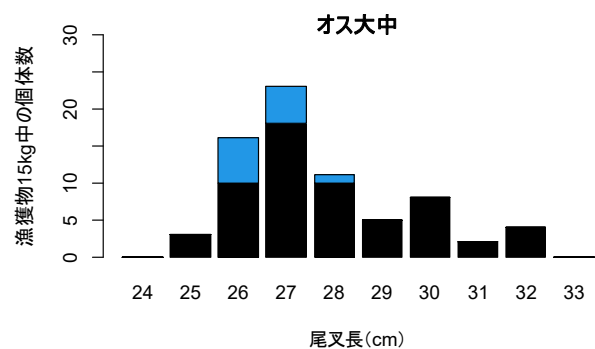


図7 銘柄「オス大中」の尾叉長組成 (cm)

黒：オス、青：メス

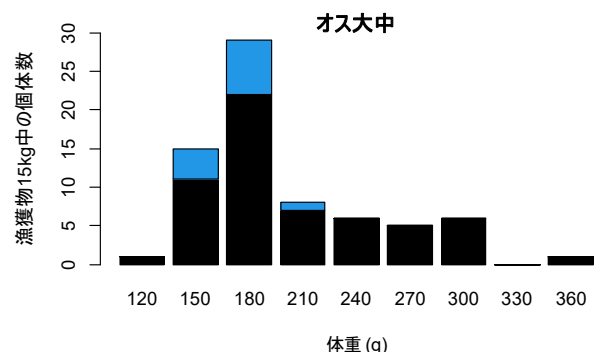


図7 銘柄「オス大中」の体重組成 (g)

黒：オス、青：メス

本日 (3/6) 午後、小樽市漁協から標本を購入できました。明日は、そちらの結果をご報告できればと思います。